

平成29年2月21日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	尾張旭市
連絡先	部署名	企画部企画課
	担当者役職・氏名	主事 金城 唯誠
	電話番号	0561-76-8104
	FAX番号	0561-52-0831
	メールアドレス	kikaku@city.owariasahi.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：尾張旭駅から愛知県森林公園までの交通手段を確保することによる観光振興

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

本市の北部には、森林浴の森 日本100選の1つに選ばれ、市内外から年間約100万人の方が訪れる愛知県森林公園がある。この森林公園は、平成31年に愛知県が開催する全国植樹祭の会場に決定するなど、本市が観光振興を図る上で欠かせない施設となっている。

現在、この森林公園への交通機関として、尾張旭駅から市営バスや名鉄バスが通っているものの、運行本数がそれぞれ1時間に1本しかなく、本市が観光振興を図るに当たっては、森林公園へのアクセスが課題となっている。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

- 尾張旭市都市計画マスタープランにおいて、森林公園がより利用しやすい施設となるよう、鉄道駅や各地域からのアクセス向上を目指すこととしている。無人走行車両を利用した旅客サービスはアクセス方法の一つとなり得ると考えており、実証実験の成果は今後検討を進めていく際の貴重なデータとなる。
- また、学識経験者や交通事業者などで構成する尾張旭市地域公共交通会議を設置していることから、関係者と連携し施策を検討する体制が整っている。

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

- 1 ルート（起点→終点）
- 2 ルート（地図）



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

市営バスと名鉄バスがそれぞれ1時間に1本程度運行している。ただし、市営バスについては、運行ルートと実証実験予定ルートで重複する場所は一部のみのみ。

実証実験予定ルート周辺は住宅地であり、早朝と夕方以外は交通量もそれほど多くはない。

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約1.5キロ
車線数	片側1車線（中央分離帯なし）
道路構造	歩車分離、新居町交差点から森林公園南門交差点に向かって約4%の勾配あり
道路種別	全て市道（尾張旭駅前線、巡検道線、平子線）
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	早朝と夕方以外は交通量も少なく、普段渋滞は発生しない。
交差点	右左折する四差路3か所、丁字路1か所
起点・終点	起点：愛知県森林公園南門前 終点：尾張旭駅北側ロータリー 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	通学路の指定なし

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

- (1) 道路の様子（主要地点数カ所）
- (2) 起点、終点場所（駅、公共施設等）
- (3) 車両待機場所（起点・終点場所と異なる場合）

○起点（森林公園南門前）



○新居町交差点



○終点【尾張旭駅北側ロータリー】



○旭平和墓園駐車場【車両待機場所】



6 高精度3Dマップの有無

有（平成29年度整備予定の場合は、時期を明記してください。また、「有」の場合は、
そのルートも記載してください。）

⑨

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の予定・予算措置状況等）

特になし

8 その他参考資料（ある場合は添付）

特になし